

循環病態制御外科学分野

A 欧文

A-a

1. Koga S, Ikeda S, Urata J, Chijiwa R, Abe K, Hayashi T, Eishi K, Khono S: Primary high-grade myofibroblastic sarcoma arising from the pericardium. *Circulation J* 72: 337-339, 2008 (IF: 2.373)
2. Miura T, Sakamoto T, Kobayashi M, Shin'oka T, Kurosawa H: Hemodilutional anemia impairs neurologic outcome after cardiopulmonary bypass in a piglet model. *J Thorac Cardiovasc Surg* 133: 29-36, 2008 (IF: 3.560)
3. Miura T, Yamazaki K, Kihara S, Saito S, Miyagishima M, Aomi S, Kurosawa H: Transatrial repair of submitral left ventricular pseudoaneurysm. *Ann Thorac Surg* 85: 643-645, 2008 (Case Report) (IF: 2.022)
4. Tanigawa K, Eishi K, Yamachika S, Hashizume K, Tada S, Yamane K, Izumi K, Takai H, Miura T, Nakaji S: Comparison of the effects of aortic valve replacement using 19-mm Carpentier-Edwards Perimount Bioprosthesis and 19-mm Medtronic Mosaic Bioprosthesis. *Ann Thorac Cardiovasc Surg* 14: 81-87, 2008
5. Miura T, Yamazaki K, Kihara S, Miyagishima M, Kobayashi K, Sugimoto K, Kurosawa H: Extensive patch angioplasty of the left main ostial stenosis using a rhombic-shaped pulmonary autograft. *Ann Thorac Cardiovasc Surg* 14: 263-266, 2008
6. Izumi K, Eishi K, Yamachika S, Hashizume K, Tada S, Yamane K, Takai H, Tanigawa K, Miura T, Nakaji S: The efficacy of human atrial natriuretic peptide in patients with renal dysfunction undergoing cardiac surgery. *Ann Thorac Cardiovasc Surg* 14: 294-302, 2008
7. Yamane K, Izumi K, Yamachika S, Hashizume K, Tanigawa K, Miura T, Hashimoto W, Odate T, Nakaji S, Eishi K: Operative outcome of cardiac surgery in patients with liver cirrhosis. *Acta Medica Nagasaki* 53: 15-21, 2008
8. Eishi K: Management of active infective endocarditis. *Gen Thorac Cardiovasc Surg* 56: 257-259, 2008.
9. Miura T, Eishi K, Yamachika S, Hashizume K, Tada S, Yamane K, Nakaji S: Isolated undersized mitral annuloplasty for functional mitral regurgitation in non-ischemic dilated cardiomyopathy—reconsideration of the relationship between preoperative coaptation depth and persistent mitral regurgitation—*Circulation J* 72: 1744-1750, 2008 (IF: 2.373)
10. Miura T, Nishida H, Kawai A, Maeda T, Kurosawa H, Koyanagi H: Successful treatment of a patient with severe pulmonary hypertension due to perivalvular leakage at aortic and mitral positions after aortic and mitral valve replacement. *Gen Thorac Cardiovasc Surg* 56: 521-525, 2008
11. Hisata Y, Hazama S, Izumi K, Eishi K: Triple-valve treatment for prosthetic valve endocarditis occurring 20 years after implantation of a Carpentier-Edwards pericardial bioprosthesis in the aortic valve. *Gen Thorac Cardiovasc Surg* 56: 595-598, 2008

B 邦文

B-a

1. 久田洋一, 迫 史朗, 泉 賢太, 江石清行: 急性心筋梗塞に伴う心室中隔穿孔, 左室瘤に左室形成術 (SAVE 手術) を施行した 1 例. *日本血管外科学会雑誌* 37: 197-200, 2008
2. 三浦 崇, 江石清行: 循環器疾患 内科医からのアプローチ 外科医からのアプローチ 弁膜症 弁膜症に対する形成術—特に僧帽弁. *Circulation Up-to-Date* 3: 596-610, 2008

B-b

1. 江石清行, 山口博一郎: 【特集・感染性心内膜炎】中枢神経系合併症: 脳梗塞・脳出血例の心臓外科手術の適応とそのタイミング. *循環器科* 63: 347-353, 2008
2. 三浦 崇, 江石清行, 山近史郎, 橋詰浩二, 山根健太郎, 谷川和好, 泉 賢太, 高井秀明, 橋本 亘, 尾立朋大, 中路 俊: 虚血性僧帽弁閉鎖不全症に対する僧帽弁輪形成術の短期中期成績. *日本心臓血管外科学会雑誌* 37: 296, 2008
3. 橋本 亘, 江石清行, 橋詰浩二, 山根健太郎, 谷川和好, 三浦 崇, 尾立朋大, 中路 俊, 坂本一郎: 腹部大動脈瘤に対するステントグラフト挿入術の 7 年間の長期成績. *日本心臓血管外科学会雑誌* 37: 337, 2008
4. 尾立朋大, 山近史郎, 橋詰浩二, 山根健太郎, 谷川和好, 三浦崇, 橋本 亘, 中路 俊, 江石清行, 迫 史朗: 狭小大動脈弁輪に対する AVR 後の血行動態・左室機能の評価 ~ CEP vs Mosaic vs ATS-AP ~ *日本心臓血管外科学会雑誌* 37: 401, 2008
5. 三浦 崇, 江石清行, 坂本一郎, 山近史郎, 橋詰浩二, 山根健太郎, 谷川和好, 橋本 亘, 尾立朋大, 中路 俊, 高井秀明, 泉 賢太: 僧帽弁後尖弁輪形成に使用した自己心膜の石灰化研究. *日本心臓血管外科学会雑誌* 37: 403, 2008
6. 谷川和好, 江石清行, 山近史郎, 橋詰浩二, 山根健太郎, 橋本 亘, 三浦 崇, 尾立朋大, 中路 俊: 弁輪感染を伴う感染性心内膜炎の治療戦略. *日本心臓血管外科学会雑誌* 37: 406, 2008
7. 山根健太郎, 江石清行, 山近史郎, 橋詰浩二, 橋本 亘, 谷川和好, 三浦 崇, 尾立朋大, 中路 俊: 拡大胸腺摘出および上大静脈再建術後に生じた縦隔洞炎および感染性上行大動脈仮性動脈瘤の一例. *日本血管外科学会雑誌* 17: 300, 2008
8. 橋本 亘, 江石清行, 橋詰浩二, 山根健太郎, 谷川和好, 三浦 崇, 尾立朋大, 中路 俊, 坂本一郎: 破裂性腹部大動脈瘤に対する外科手術及びステントグラフト挿入術の 7 年間の治療経験. *日本血管外科学会雑誌* 17: 368,

2008

9. 三浦 崇, 江石清行, 山近史郎, 濱脇正好, 橋詰浩二, 迫史朗, 山口敬史, 山根健太郎, 久田洋一, 谷川和好, 泉賢太, 橋本 亘, 尾立朋大, 松隈誠司, 中路 俊: 僧帽弁位感染性心内膜炎に対する形成手技の検討. 日本外科学会雑誌 109: 104, 2008
10. 山根健太郎, 江石清行, 山近史郎, 橋詰浩二, 橋本 亘, 谷川和好, 三浦 崇, 尾立朋大, 中路 俊: 低心機能症例に対する冠動脈バイパス術の検討. 日本外科学会雑誌 109: 453, 2008
11. 橋本 亘, 江石清行, 山近史郎, 橋詰浩二, 山根健太郎, 谷川和好, 三浦崇, 尾立朋大, 中路俊: 孤立性三尖弁閉鎖不全症(TR)に対する三尖弁形成術. Circulation J 72: 975, 2008
12. 高井秀明, 松丸一朗, 山田卓史: MOSAIC 生体弁置換術後 2 年 9 ヶ月で生体弁機能不全を呈し再弁置換術を行った 1 例. Circulation J 72: 976, 2008
13. 田川 努, 中村昭博, 山崎直哉, 澤田貴裕, 土谷智史, 古川克郎, 宮崎拓郎, 蒲原涼太郎, 持永浩史, 三浦 崇, 谷川和好, 橋詰浩二, 江石清行, 伊達洋至, 永安 武: 肺蛋白症に対する本邦初の生体肺葉移植術. 日本胸部外科学会雑誌 56: 250, 2008
14. 橋詰浩二, 江石清行, 山根健太郎, 谷川和好, 三浦 崇, 橋本 亘, 尾立朋大, 久富一輝: 腋窩送血を併用した中等度低体温選択的脳灌流法の妥当性. 日本胸部外科学会雑誌 56: 260, 2008
15. 三浦 崇, 江石清行, 山近史郎, 橋詰浩二, 山根健太郎, 谷川和好, 橋本 亘, 尾立朋大, 中路 俊, 久富一輝: 弁輪拡大の少ない後尖, もしくは交連部周囲逸脱に対する自己心膜による後尖弁輪形成術の durability: Physio ring との比較. 日本胸部外科学会雑誌 56: 372, 2008
16. 山田卓史, 高井秀明, 松丸一朗: 慢性透析患者に対する冠動脈バイパス術の検討. 日本冠疾患学会雑誌 14: 360, 2008

B-c

1. 三浦 崇, 江石清行, 山近史郎, 橋詰浩二, 山根健太郎, 谷川和好, 橋本 亘, 尾立朋大, 中路 俊: Coaptation depth 19.5 mm, Posterior leaflet angle 70 度の虚血性 MR に対する undersized MAP. 第 104 回日本循環器学会九州地方会抄録集, 2008
2. 橋本 亘, 江石清行, 橋詰浩二, 山根健太郎, 谷川和好, 三浦 崇, 尾立朋大, 中路 俊: 乳頭筋異常を伴った閉塞性肥大型心筋症の 1 例. 第 104 回日本循環器学会九州地方会抄録集, 2008
3. 久田洋一, 迫 史朗, 泉 賢太: CEP 弁置換 20 年目に発症した PVE に 3 弁治療を施行した 1 例. 第 41 回日本胸部外科学会九州地方会抄録集, 27, 2008
4. 尾立朋大, 江石清行, 橋詰浩二, 橋本 亘, 谷川和好, 三浦崇: 顕微鏡下吻合が有効であった極細冠動脈バイパスの 1 例. 第 41 回日本胸部外科学会九州地方会抄録集, 30, 2008
5. 谷口真一郎, 柴田隆一郎, 野口学, 小野原大介: 狭小大動脈弁輪に対する 17mm SJM Regent 弁の使用経験. 第 41 回日本胸部外科学会九州地方会抄録集, 50, 2008
6. 濱脇正好, 山口敬史, 松隈誠司: 人工心肺離脱時の MUF の有効性の検討. 第 41 回日本胸部外科学会九州地方会抄録集, 60, 2008
7. 橋本 亘, 江石清行, 橋詰浩二, 谷川和好, 三浦 崇, 尾立朋大, 久富一輝: 胸部大動脈瘤術後の乳糜胸の 3 例. 第 41 回日本胸部外科学会九州地方会抄録集, 62, 2008
8. 佐藤大輔, 江石清行, 橋詰浩二, 押富 隆, 谷口真一郎, 三浦 崇, 橋本 亘, 尾立朋大, 松隈誠司, 久富一輝: 右心不全症状を呈したが, 心膜の肥厚・石灰化を伴わず収縮性心膜炎として加療するまでに時間を要した一例. 第 105 回日本循環器学会九州地方会抄録集, 15, 2008
9. 三浦 崇, 江石清行, 山近史郎, 橋詰浩二, 押富 隆, 谷口真一郎, 橋本 亘, 尾立朋大, 松隈誠司, 久富一輝: 僧帽弁形成術後の感染性心内膜炎の 1 例. 第 105 回日本循環器学会九州地方会抄録集, 22, 2008

学会発表数

A - a	A - b		B - a	B - b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	0	5	4	24

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
江石清行・教授	長崎県救急医療対策部会	長崎県
江石清行・教授	長崎県特定疾患対策協議会委員	長崎県
江石清行・教授	長崎県急性心筋梗塞検討委員会委員	長崎県
江石清行・教授	評議員	日本冠動脈外科学会
江石清行・教授	評議員	日本循環器学会

江石清行・教授	評議員	日本胸部外科学会
江石清行・教授	評議員	国際心臓胸部外科学会日本支部

競争的研究資金獲得状況(共同研究を含む)

氏名・職	外部資金提供元	代表・分担	研究題目
江石清行・教授	センチュリーメディカル株式会社	代表	ATS 人工弁の開閉音が日常に与える影響に関するアンケート調査・他機械弁との比較

その他

非常勤講師等

氏名・職	職・担当科目等	関係機関名
江石清行・教授	非常勤講師（臨床病態学）	長崎県立シーボルト大学
江石清行・教授	非常勤講師（循環器外科学）	東京女子医科大学
江石清行・教授	非常勤講師（心臓血管外科学）	大分大学